

(第2号様式)

知 念第 2540号
令和7年 3月21日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立知念学校
校長 宮城 保
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月17日	場所	本校 校長室	出席 状況	4名
第2回	日時	令和6年12月23日	場所	本校 校長室	出席 状況	4名
第3回	日時	令和7年3月18日	場所	本校 校長室	出席 状況	3名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校の現状と課題に対する意見。
- ②進路指導に関する意見。
- ③生徒指導に関する意見。
- ④学校評価に関する意見。
- ⑤その他学校の教育活動に関する意見。

3 学校評議員の意見

- ①近年、国公立大学進学者が多く、物怖じせずチャレンジする生徒が増えている。知念高校は行事も盛んで行事を通して生徒間のつながりが強くなり、お互いの影響で進路活動に良い影響を与えている。
- ②進路指導について、先生方が後押しをしている状況をもっと多くの保護者に伝わるようにしたほうがよい。
- ③自転車に乗っている生徒を見ていて、危ないと感じることがあった。登下校の安全指導の強化と事故になった際の対処法についても十分な指導をお願いします。
- ④自然災害、特に「津波」に対する対応はどうなっているか。学校の立地している場所を考えると、日頃から備えておく必要があるのでは。
- ⑤生徒たちが意欲的に学ぶ環境が整っていると捉えています。今後も地域の高校として有意義な取り組みを期待しています。

4 学校運営に反映した事項

- ①担任団と進路部で「進路検討会」を複数回実施し、生徒個々の現況を見ながら進路決定を進めた。授業や放課後講座等を活用し、「一般入試」で勝負できる学力の育成を行った。
- ②紙媒体に加えICTも活用し、進路活動を含む学校における教育活動の発信を試みた。
- ③全校生徒対象の「交通安全講演会」だけでなく、適宜担任を通して、特に自転車のマナーに関する注意・喚起を行った。
- ④津波を想定した避難訓練を全生徒対象(約950名)に実施し、指定された避難場所(近隣の団地駐車場)に全生徒が避難(収容)できることを確認した。

5 課題その他

本校は、評議員の意見にあるとおり、勉学および部活動等に意欲的に挑戦できる環境が整備されている。今後もその風潮・環境が引き継がれるよう努めていきたい。近年、ICT等の機能を活用した広報活動に取り組んでいるが、保護者の学校評価から、まだ十分に情報が届いていないことが判明した。情報の積極的・効率的な発信が課題である。また、評議員から指摘のあった、「交通安全」は生徒の「命」に関わるものであり、学校においても交通マナーの周知を徹底していきたい。